

必要かとのご質問と解釈する。現時点では、このような接種方法に関する有用性・安全性を示す成績はない。Primary vaccine failure となっている確率は低いが、secondary vaccine failure となっている可能性はあること、理論的に生ワクチンでは回数が多くなることで重篤な副反応のリスクが上がるとは考えにくいことから、接種を回避する必要はないと思われる。

文献

- 1) 厚生労働省予防接種に関する検討会 中間報告書、平成17年3月
- 2) 厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業 「麻疹・風疹(MR)混合ワクチンの接種効果、安全性、接種率に関する研究班」平成18年度 総括・分担研究報告書(主任研究者:加藤達夫)